

岡山
くりえん

NO.41
2010.1



社団法人 岡山県産業廃棄物協会

◆年頭にあたって◆

- 社会的信頼の一層の向上を (社)岡山県産業廃棄物協会 会長 藏本 忠男 1
循環型社会の中で中核的存在に (社)全国産業廃棄物連合会 会長 國中 賢吉 2
今こそ求められる飛躍の準備と適正処理 岡山県生活環境部 部長 福田 伸子 3
環境先進都市を目指して 岡山市環境局 局長 松田 隆之 4
地球温暖化対策への取り組みについて 倉敷市環境リサイクル局 局長 浅野 憲次 5

◆行政ニュース◆

- 〈岡山県からのお知らせ〉古いトランス等を取り扱う場合の留意点について 6
〈岡山県からのお知らせ〉産業廃棄物の処理の委託には! 7
災害廃棄物の処理について 美作市市民部環境課 課長 山本 正人 8
〈岡山県からのお知らせ〉地球と財布にやさしいエコドライブ 10

◆協会だより◆

- 岡本靖磨呂氏が環境大臣表彰受賞 11
海外視察研修(台湾 台北市北投ごみ処理場)に参加して 12
第2回中国地域協議会開催 14
平成21年度 優良施設視察研修会に参加して 15
第8回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して 16

-
- 〈世界見聞録24〉秘境ラオス最深部へ 倉敷芸術科学大学 河邊 誠一郎 17
-

◆青年部会のページ◆

- 青年部設立10周年記念式典 21

◆支部ニュース◆

- 〈東備支部〉不法投棄^{ゼロ}を目指して! 22
〈井笠支部〉第12回井笠地域環境クリーン作戦実施 24
趣味の会 第18回ゴルフコンペ開催 25
趣味の会 第9回ボウリング大会開催 26

◆事務局だより◆

- 新規入会正会員 賛助会員紹介 27
表紙カラーガイド/編集後記 28

社会的信頼の一層の向上を

(社)岡山県産業廃棄物協会 会長 **藏本 忠男**



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、当協会の事業運営につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、8月に実施された衆議院議員総選挙で民主党が大勝利を収め、自民党から民主党へ政権交代が行われた歴史的な年となりました。また、一方で景気の低迷は昨年同様依然として深刻な状況が続き、景気回復の足音も聞こえない厳しい経営環境の年でもありました。

我々の産業廃棄物処理業界においても、工業製品の減産等に伴う産業廃棄物発生量の減少や処理単価の急激な下落等により経営環境が悪化し、多くの業者が苦境に立たされているものと思われます。

今年は産業廃棄物処理業界を取り巻くこうした経済環境が改善され、景気好転の兆し、更には景気の拡大が実感できる明るい年となりますよう期待いたしているところであります。

さて、このような国内外の社会経済情勢が激動する中、当協会といたしましては、排出事業者等を対象とした電子マニフェスト研修会や産業廃棄物適正処理講習会を開催するなど、産業廃棄物処理業界の資質の向上や人材育成の推進を図るとともに、行政機関、地域住民等と連携して各支部単位で「環境クリーン作戦」を実施するなど不法投棄防止キャンペーンを展開し、産業廃棄物の適正処理に関する普及啓発活動を推進してまいりました。

また、昨年は「災害時における廃棄物処理の協力に関する協定」を締結している岡山県を介して、台風9号により甚大な被害を受けた美作市から災害廃棄物の処理支援要請が当協会にありました。

支援要請の受諾にあたって、当協会は窓口となり、当協会会員で構成している岡山県産業廃棄物処理業協同組合が実施主体として処理支援活動を展開し、関係会員のご協力により災害廃棄物を迅速に処理することができました。

当協会としては、こうした地域社会への貢献活動に取り組むことにより、産業廃棄物処理業界の社会的信頼を一層向上させることができるものと思っております。この場をお借りしまして関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

今日大きく変動する社会環境の中で、当協会としても協会組織の一層の充実強化に努めるとともに、循環型社会の形成に向けた3Rの推進と産業廃棄物の適正処理を強力に推進することにより、産業廃棄物の一層の排出抑制やリサイクル率の向上を目指して様々な課題や事業に取り組んで参りまたいと決意を新たにしているところであります。

また、公益法人制度改革への対応は取り組むべき新たな課題であり、今後、他県協会の動向等を参考にするとともに、会員の皆様のご理解をいただきながら、理事会等を通じて対応方針を定めていきたいと考えております。

最後に、会員皆様のますますのご発展とご健勝を祈念申し上げますとともに、当協会に対する一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

循環型社会の中で中核的存在に

(社)全国産業廃棄物連合会 会長 國中 賢吉



社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、いわゆるリーマンショック以降の経済不況の流れから脱し切れず、国内外において景気低迷の深刻な状況が続きました。新型インフルエンザの流行も景気後退に拍車をかける等、経済全般において明るい話題を見つけにくい一年でありました。

また、政治の動きでは、衆議院議員選挙の結果、政権が交代するという激動の年となりました。政府は昨年11月に3年5カ月ぶりに「デフレ宣言」を行いました。特に中小零細企業に対する景気低迷の影響は甚大です。当連合会では、各都道府県の産業廃棄物協会の協力を得て「産業廃棄物処理業の景況動向調査」を継続的に実施し、その結果として産業廃棄物処理業が国による「緊急保証制度」の対象業種にも指定されておりますが、依然として厳しい経営環境の中での舵取りを強いられているという状況に変わりはありません。景気上昇に向け、国におかれては、財政・金融の両面にわたる有効な対策を早急に進めていただくよう強くお願いいたたく存じます。

さて、このような厳しい経済社会情勢にあつて、産業廃棄物処理業は、「出てきた廃棄物を適正に処理する」という従来の役割に加え、循環型社会に貢献するための新しい役割が社会的に期待されるようになっております。今や産業廃棄物処理業は、循環型社会の中で重要な地位を占める環境ビジネスの中核的存在になりつつあるといっても過言ではないと考えております。

本年は、一昨年の秋から国が検討を進めてこられた廃棄物処理制度の見直しについて、中央環境審議会廃棄物処理制度専門委員会の報告を受け、法改正を含む具体的な措置が進められるものと期待しております。

同専門委員会には、当連合会からも委員を派遣させていただき、これまでの審議において、当連合会の意見及び要望を適宜申し上げて参りました。取り纏められた報告においては、当連合会の意見等を真摯に受け止めていただいたものと考えております。これまでの累次にわたる法改正は、どちらかといえば規制強化に偏ったものといえましようが、国におかれてはぜひこの報告を踏まえ、環境ビジネスとしての産業廃棄物処理業の健全な発展を視野に置いた制度改正がなされるよう改めて期待する次第でございます。

本年も様々な課題が山積しておりますが、循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展のため、貴協会の皆様とともに取り組んで参る所存でございます。皆様の一層の御指導・御鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして、すばらしい年でありますよう御祈り致しまして、新年の御挨拶とさせていただきます。本年もよろしく御礼申し上げます。

今こそ求められる飛躍の準備と適正処理

岡山県生活環境部 部長 福田 伸子



新年あけましておめでとうございます。

社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の産業廃棄物行政に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済は一部に底入れの動きがあるとの見方があるものの、依然として極めて厳しい状況での年明けとなりました。こうした中であって

も、人類共通の喫緊の課題である温暖化防止や循環型社会の形成に関する報道が毎日のように行われるなど、環境問題の解決に向けて社会的な関心が日々確実に高まっていると感じられます。

現在は、先行き不透明な経済状況と言われていますが、このようなときこそ、資源の有効活用など3Rや省資源・省エネルギーに関する技術の開発や導入など、将来の飛躍につながる布石を打つことが求められていると考えております。

その一方で、不況により、不法投棄など不適正処理の増大が懸念されることから、県としましては、第2次岡山県廃棄物処理計画に掲げた「排出事業者責任の徹底・強化」、「3Rの推進」、「適正処理の推進」などの基本方針のもと、電子マニフェストの普及促進をはじめとする排出事業者への適正処理の指導強化に努めるとともに、廃棄物の排出抑制やリサイクル率の向上等を目指してまいります。

これら諸施策を展開し、循環型社会の形成を進めていくためには、貴協会と会員皆様方の御協力が不可欠であり、なお一層の御尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、貴協会と会員皆様方にとりまして、本年が良い年となりますよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

環境先進都市を目指して

岡山市環境局 局長 **松田 隆之**



平成22年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。皆さま方には、平素より市政、とりわけ産業廃棄物行政に対するご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましても、産業廃棄物の適正処理の推進のため、業界関係者の指導・育成さらには関連事業の一層の発展にご尽力され、役員の方々はもとより会員の皆さま方の日々のご努力と熱意に深く敬意を表する次第でございます。

さて、昨年4月1日より岡山市は政令指定都市として新たなステージに立ち、中四国の中枢拠点都市として歩み始めました。環境対策事業においては、昨年2月より家庭ごみの有料化を実施、同4月からは使用済てんぷら油の資源回収を開始し、ごみの減量化・再資源化を図ることにより資源循環型社会の構築を目指しているところです。

使用済てんぷら油のバイオディーゼル燃料化事業は、官民の協同事業として実現したもので全国的にも注目されています。昨年6月には、市内に全国有数のバイオディーゼル燃料製造施設が完成し、同7月からは市有ごみ収集車等での燃料使用を開始しました。これまで市民の皆様や関係事業者のご協力を得て概ね計画どおりに進捗しており、これからは軽油代替燃料としてバイオディーゼル燃料を使用することにより地球温暖化ガスの削減を進めて参ります。

今年は環境の世紀に入り10年の節目の年となりました。世界的に環境問題への関心が高まっており、政権交代後の新政府からは大幅な地球温暖化ガス削減目標が公表されているところです。環境対策は喫緊の課題であり、まずは我々一人一人の環境意識の高揚が大変重要であると考えています。

本市は、循環型社会、低炭素社会、自然共生社会の構築に向けた統合的な取り組みを展開することにより、環境先進都市の実現を目指して参りますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

地球温暖化対策への取り組みについて

倉敷市環境リサイクル局 局長 浅野 憲次



平成22年の新年を迎え、心からお慶び申し上げます。また、社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様方には、平素から本市の産業廃棄物行政に格別なる御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は昨年4月に環境リサイクル局長を拝命し、廃棄物処理を含む生活環境全般を担当する環境行政を、統括する立場となりました。

この環境行政のなかで最も重要な問題となっておりますのが、皆様も御承知のとおり、人類の生存基盤にも関わるといわれる地球温暖化問題であります。この問題については、昨年の国連気候変動首脳会合において温暖化対策である温室効果ガス排出量を、日本は2020年までに1990年比で25%削減するという目標を表明いたしました。これを実現、推進するためには、国、地方公共団体、事業者及び国民などのあらゆる主体が一体となって真剣に取り組まなければならない極めて高い数値目標となっています。

この一助になればと思い、私自身、最近自転車通勤を開始しております。自転車通勤をすることで身体の健康状態もよくなるほか、これまで通勤車で排出していたCO2の排出削減にもつながります。削減量という面ではほんのわずかなことですが、大切なことは、できることから取り組もうという一人ひとりの意識改革であると思います。

市といたしましても、それに向けた意識啓発を行い、実践につなげていくことが、環境政策において非常に重要であると感じているところでございます。

廃棄物処理におきましても、今後、地球温暖化防止を盛り込んだ施策の取り組みが今以上、求められるようになると思いますが、廃棄物処理に直接携わる方々にも意識改革と、まずは、できることから取り組んでいただくことが必要であると考えます。

景気低迷や新型インフルエンザの感染など、事業運営には大変厳しい社会情勢ではございますが、廃棄物処理は国民のいわばライフラインであり、着実に継続していくことが求められております。このため、貴協会会員の皆様の役割は大変重要であり、引き続き、皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。終わりにになりましたが、貴協会の今後ますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



古いトランス等を取り扱う場合の留意点について

(PCB濃度の確認の徹底)

古いトランス、コンデンサ等（以下「トランス等」という。）には、絶縁油に有害なポリ塩化ビフェニル（以下「PCB」という。）が含まれているものがあり、これらを廃棄する場合はPCBを含む廃棄物（以下「PCB廃棄物」という。）として、以下のとおり関係法令に基づき厳しく取扱いが制限されておりますが、昨今、PCB廃棄物に該当するトランス等が一般的な金属くずとして取り扱われるなど、不適切な取扱いが散見されます。

つきましては、トランス等を通常の廃棄物又は金属くずとして取り扱う場合には、あらかじめ排出事業者に対して、PCB含有の有無について確認し、PCBが含有されていないことが確認されたトランス等に限り取り扱うよう留意してください。

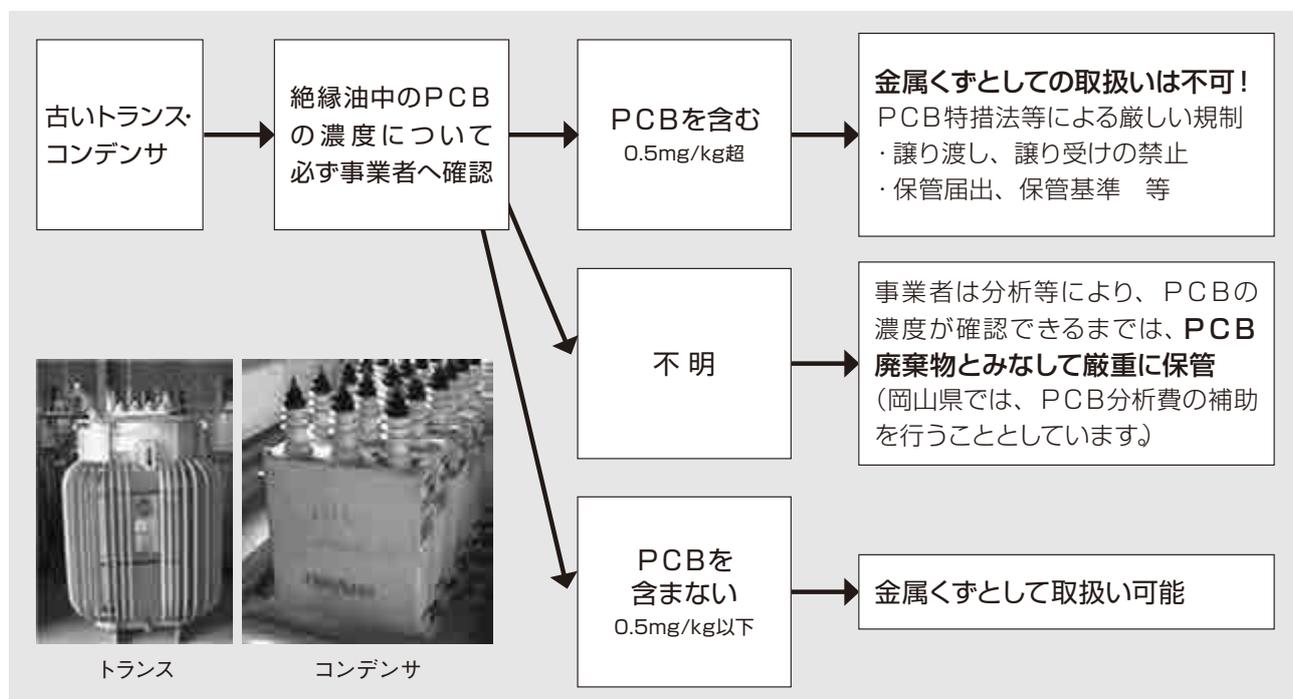
1 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づく規制

PCB廃棄物の譲渡及び譲受は、原則として禁止されており、違反すると3年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処せられ、又はこれを併科されます。

2 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）に基づく規制

PCB廃棄物は、特に有害な産業廃棄物として特別管理産業廃棄物に指定されており、保管、運搬及び処分（焼却、洗浄等の行為）の方法について、厳しい基準が定められています。

また、廃棄物処理法に基づく許可を得ずに他人のPCB廃棄物の運搬又は処分を行った場合、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処せられ、又はこれを併科されます。



【問い合わせ先】

岡山県生活環境部循環型社会推進課
岡山市環境局産業廃棄物対策課
倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部産業廃棄物対策課

TEL(086)226-7308
TEL(086)803-1303
TEL(086)426-3385



産業廃棄物の処理の委託には!

◎許可業者と書面による委託契約の締結が必要です。

法定事項	罰則等
<p>◆処理の委託は許可業者へ! 許可を受けた産業廃棄物処理業者等に委託しなければなりません。</p>	<p>委託基準違反 3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金又はこの併科</p> <p>(違法な処分を受託した処理業者にも同様の罰則が科せられます。【受託基準違反】)</p>
<p>◆委託契約の締結は書面で! 委託契約は、法で定められた内容が盛り込まれた契約書で行わなければなりません。</p> <p>・委託契約書は、5年間保存しなければなりません。</p>	

◎産業廃棄物管理票の交付等が必要です。

法定事項	罰則等
<p>◆必ず管理票を交付! 産業廃棄物を処理業者に引き渡すときは、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)又は電子マニフェストを交付しなければなりません。</p> <p>・紙マニフェストの写しは、5年間保存しなければなりません。 ・電子マニフェストの場合は、情報処理センターがその情報を5年間保存しています。 ・県では電子マニフェストを推奨しています。</p>	<p>管理票交付・保存義務違反 6月以下の懲役又は50万円以下の罰金</p> <p>(管理票の交付を受けずに処理を受託した場合、処理業者も違法行為を助長したとして、営業停止等行政処分の対象となることがあります。)</p>
<p>◆管理票により処理状況を確認(※) 処理を委託したときは、管理票の写し等により適正処理を確認しなければなりません。</p> <p>・法令で定められた期間(運搬及び処分は90日(特別管理産業廃棄物は60日)、最終処分は180日)までに、適正に処理されたことを確認できないときは、知事(岡山市・倉敷市の場合は市長)に報告しなければなりません。 ・電子マニフェストの場合は、法定期間が近づくと情報処理センターから排出事業者へ、処理状況の確認を促す電子メールが届きます。</p>	
<p>◆管理票交付等状況報告書の提出 紙マニフェストを交付した場合は、毎年度6月30日までに前年度の交付状況を知事等に報告しなければなりません。</p> <p>・電子マニフェストの場合、排出事業者が代わって、情報処理センターが知事等に報告を行います。</p>	

◎問い合わせ先：県庁循環型社会推進課（岡山市北区内山下二丁目4-6 Tel：086-226-7308）

◎紙マニフェストの購入及び電子マニフェストシステムへの加入窓口

社団法人岡山県産業廃棄物協会（岡山市北区津高628-6 Tel：086-254-9383）

行政と民間の協力体制の構築を 災害廃棄物の処理について

美作市市民部環境課 課長 山本 正人



昨年、県北東部の美作市では7月19日の竜巻と見られる突風、8月9日未明には台風9号の影響による豪雨により多くの被害が発生しました。特に豪雨による被害はここ数十年経験のない規模のもので、美作市内の土居・江見地区を中心に多くの家屋が浸水しました。これにより多量の災害廃棄物の発生が想定されたため、翌日より被害地の中心近くの産業団地に災害ごみ仮置き場を設置しました。仮置き場は、他の市町村での過去の対応を参考に可燃物（粗大含む）・可燃物（生ごみ）・畳・家屋流入木・家屋流入タイヤ・金属粗大・廃家電・家電リサイクル対象品・埋立不燃の9種類に分けました。

災害ごみの収集は、被災地巡回収集のほか、被災地消防団、水害ボランティアセンターからの派遣、地元建設業者等のボランティアで直接搬入されました。一方処理については、当市で直接処理できるものは随時市の施設に搬送していました



が、仮置き場に搬入される廃棄物の量から当市の処理施設のみでは半年以上の期間が必要と推定され、衛生上の問題からも他の方法を検討することとなりました。

処理での課題は、焼却受入施設可能施設や可燃粗大の破碎・選別及び大量の破碎物の運搬でしたので、これらに実績のある(社)岡山県産業廃棄物協会に協力をお願いしましたところ快くお受け頂きました。

可燃物の処理は、岡山県産業廃棄物処理業協同組合・会員様等の協力で実質9月18日から10月29日までの短期間で終了することができました。

今回の経験から、災害廃棄物は、発生してから

の対処では「時遅し」と痛感しており、災害時の混乱防止・早期処理、搬入者の理解・協力のためには、事前に災害の種別や規模に応じた分別・仮置き場の設置箇所の選定について明らかにしておくことと他市町村・民間との協力関係協力体制等を構築しておく必要があります。そして、これらを盛りこんだ災害廃棄物処理計画を作っておくことも重要ではないかと思えます。

最後になりましたが、この災害に際しまして参集いただいたボランティアの皆様方、(社)岡山県産業廃棄物協会の皆様方のご協力をおもひまして災害廃棄物の早期処理ができましたことを感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



水害の被災状況

人的被害 死者 1名、負傷者 4名
住家の被害 全壊 13戸、半壊 114戸
床上浸水 204戸、床下浸水 300戸

災害ごみ処理量

可燃ごみ 1301.76 t、木くず 53.66 t、
置 138.23 t、
不燃ごみ(選別不能物含む) 181.54 t、
金属類 110.7 t、家電類 43.22 t、
廃タイヤ11.88 t



地球と財布にやさしいエコドライブ —あなたも始めてみませんか—

【エコドライブとは?】

車の燃費を向上させ、車からの温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を少しでも減らすための運転方法のことです。車から排出される二酸化炭素の量は、日本の温室効果ガスの排出量の約18%、このうち乗用車からの排出量は約10%とされています。エコドライブにより乗用車の使用燃料を1割削減すれば、日本の温室効果ガスの約1%を減らすことができます。

エコドライブは、二酸化炭素の排出量の削減(大気汚染の抑制)だけでなく、使用燃料の節約(経費の削減)、安全運転の推進(交通事故の減少)、運転意識の向上(優良運転者の育成=社会的信頼の獲得)も期待できます。

【エコドライブのテクニック】

<その1:ふんわりアクセル「eスタート」>

発進のとき、アクセルを一気に踏み込むのではなくやさしくふわっと踏みましょう。これで燃費が約11%も良くなります。アクセルペダルに足の裏全体を付けると上手にできます。

<その2:加減速の少ない運転>

車間距離に余裕を持つことが大切です。車間距離を縮めたり速度にムラのある運転はやめましょう。これで、燃費は、市街地で約2%、郊外では

約6%良くなります。

<その3:早めのアクセルオフ>

赤信号などで車を停止するときは、早めにアクセルペダルから足を離して、エンジブレーキを使いましょう。エンジブレーキでは、燃料の供給が停止(フューエルカット)されますので、燃費は、約2%良くなります。

【さあ!エコドライブしましょう】

3つのテクニックで、燃費を約15~19%も向上させることができます。

でも、エコドライブの究極のテクニックは、車を使わないことです。できるだけ車に頼らず、車に乗るときには「地球と財布にやさしいエコドライブ」をしましょう。

【エコドライブ宣言者の募集】

県では、エコドライブ宣言者の募集を行っています。(上図は募集チラシです。)

宣言をしていただいた方には、エコドライブカードとステッカーを進呈します。

詳しくは、募集チラシ(上図)か、岡山県庁(生活環境部環境管理課)のホームページで御確認いただくか、同課(電話:086-226-7302)までお問い合わせください。



岡本 靖磨呂氏が環境大臣表彰受賞



岡本 靖磨呂氏（協会副会長 倉敷支部長）が平成21年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞されました。

本受賞対象は循環型社会形成について、顕著な成果を挙げている個人に送られるもので今年度の個人受賞者は全国で3名。

表彰式は10月16日に一般市民、事業者、行政関係者など約600名が参加して千葉市中央区の

ホテルグリーンタワー千葉に於いて開催された。

式典は環境大臣政務官、千葉市長の主催者挨拶などの後、国際連合大学名誉副学長である安井至氏による特別講演「3Rそれぞれの協調的な活用」などが行われました。

受賞後の報道インタビューに対し岡本氏は『産廃の処分量は減少傾向にあり益々、我々の経営状況は厳しくなっている。しかし、産廃処分業者としてのコンプライアンスは絶対に外してはならない。この受賞を励みに今後も一層循環型社会の構築を崩すことなく一層の努力を惜しまない。』と述べられました。



フル装備のシステムも、大気汚染には疑問

—海外視察研修(台湾 台北市北投ごみ処理場)に参加して—

水島エコワークス(株) 岸田 修一

1.はじめに

台湾は、経済発展の目覚ましい国で、重化学工業のみならず、半導体やIT産業も活発で日本企業の進出も多く、温暖な気候と親日的な国民感情、さらには多くの歴史遺産や美食の数々とファンを引きつけて止まない魅力的な国である。

今回、チャンスに恵まれ、台北市の大規模ごみ処理施設を見学することができ、見知らぬ国の街並みや異文化に触れ、有意義な研修となった。

視察団は、岡本、横田両副会長はじめ会員各社から28名の参加者で構成され、11月27日~29日の2泊3日行程である。初日の朝、広島空港から台湾桃園国際空港へ飛び、高速道路を走って近代的なビル群の中を台北市内へ入り、昼食後、目的とする「北投ごみ処理場」に到着した。

2.北投ごみ処理場

この施設は、台北市政府環境保護局が運営するごみ処理プラントで、1998年に完成した処理能力1,800t/日の巨大な規模を誇る新鋭の焼却炉である。処理対象とするごみは、一般廃棄物であり、焼却可能な家庭ごみと事業系ごみである。日本の日立造船が建設したもので、建物から設備にいたるまで余裕のある立派な造りで、早速、エントランスホールの見学者用ルームにて担当スタッフから説明を受け、紹介ビデオ映像を視聴した後、見学コースを案内していただいた。



炉はストーカー式で450t/日のものを4系列備えており、焼却後の廃熱はボイラーで高圧蒸気として回収され、出力45,000kWの発電出力(自家消費は7,000kWで残りは電力会社へ売電)を有する蒸気タービン発電設備を有している。ボトムスラグやフライアッシュの処理システムや排ガス、排水処理システムなどは一通りフル装備であり、さらに煙突には白煙防止用と思われる空気加熱器による排ガス再熱システムまでもあって、日本のメーカーならではの贅沢仕様に見える。パンフレットによると建設費用は、74.4億元(現在のレート換算でおよそ220億円)とあり、ごみ処理能力t/日当たりの建設コストは、1200万円/tとなるが、これが日本の1/3から1/4であるのは、物価水準の差であろうか、台湾流の国際競争入札の結果なのか・・・

プラットフォームはゲートが18門あり、横に長く壮観であるが、たまたま訪れた時間帯にはごみ収集車の出入りはなかった。日本では、ごみ収集は朝早くから午後早々には終わってしまうが、台湾では、夜の





収集も多いそうで、受け入れは24時間体制とのこと、ほんとうにそうなのか???ごみピットクレーンは3基あり、ピット内にあるごみは少なかった。どうやら能力的にはかなりの余裕をもって造られた様子。案内していただいた担当スタッフは、近年の分別強化施策でごみ発生が少なくなり、プラントは現在2/4系列運転と言っていた。ごみ減量化は3R推進を徹底すればどこでも同じ効果をもたらす訳だが、我々の業界では、取扱量が少なくなることは商売上嬉しくないことなので、経営上悩みはみな同じなんだろうなと思ったりしながら、立派な見学者ルートを歩いた。ちなみにごみの臭気はまったくなく清潔で、訪れる側にとっては好印象でよい。

エントランスホールには、プラントの大きな模型とシステムフロー図があり、情報公開用にリアルタイムで排ガスのダスト、NOx、SOx、HClの各濃度が標準値（規制値ではなく届出値か?）と対比して分かるような環境モニタリング表示もある。こうした設計は、環境管理政策をアピールし、市民に啓蒙する公共施設ならではの先進国並み配慮が見えるが、各濃度レベルは日本の基準と比べて甘い。

最も目を引いたのは、高さ150mの煙突であり、筒体の派手な塗色に加えて、なんと頂部に回転レストランがあり、高速エレベーターで容易に昇れて台北市内を一望できるランドマークとなっていることである。こんな発想は台湾人ならではなのか、そういえば、市内に聳え立つ台北国際金融センタービル（台北101）は、高さ508mの世界最高層建築物であり、翌日夜に訪れたが、その展望台からもこの煙突が案内図に載っていた。（霞んでいてよく見えなかったが・・・）なお、プラント周りには温水プールやスポーツ施設、公園などもあり、コミュニティー広場になっている。

3.台湾のごみ処事情

台湾でも廃棄物処理法が制定されており、近年の法改正でリサイクル・ごみ減容化が強化されてから市民のごみ処理に関する意識は最近高くなってきていると

視察団の現地ガイドが言っていた。交通ルールをはじめ、一般に違反に対する罰金は、日本と比べて格段に高いのが特徴で、ごみ処理に関してもごみ放置や不法投棄など当局の取り締まりは厳しいらしい。公共の場でもごみの散乱は目立たず、特に我々観光客が多く訪れるような場所には投入口が小さ目の可燃・不燃別のゴミ箱がきちんと整備されていた。

また、市民のごみ分別は、生ごみは堆肥化のため可燃ごみとは別に出すとか、集合住宅やマンションは別だが、一般にはごみ集積場があるのではなく、収集車がチャイムを鳴らして巡回してくるのでその時にごみを持って車に投げ込むんだとか、後になって調べてみたらいろいろ文化が違うことが分かった。

今回視察した北投ごみ処理場以外に、台北には、同様な規模の施設がいくつかあり、その多くは日本の大手メーカーが建設した最新鋭の焼却炉である。台北は大都市で（人口は260万人）一極集中の傾向があることから、ごみ処理に関する行政サイドの関心は高い。それでも、日本の高度成長期から大都市の環境問題が大きくクローズアップされてきた時代と同じように、大量生産・大量消費の社会構造は否めず、廃棄物問題は、ごみの分別や減容化、資源化に取り組んできているとはいえ、政策的にはまだまだ大量廃棄・大量焼却・大量埋立というレベルから抜け切れていないとの揶揄もあるようだ。北投ごみ処理施設から発生するスラグやアッシュも大部分は埋立処理であるし、これらの道路路盤材向けなどの資源化利用率はまだまだ低い。

4.終わりに

北投ごみ処理場の視察後、我々は台湾自慢の新幹線に乗って南へ走り、台湾第2の都市で、重工業、港湾で繁栄する高雄に宿泊した。新幹線は2年半前に運用開始されたもので、日本のJR東海道・山陽新幹線の技術が輸入されており、快適な乗り心地でダイヤも正確、台北～高雄（左営）間を8駅2時間ちょうどで運行している。（のぞみ型では所要時間1時間40分）

今回、台北、高雄の2大都市を訪れる機会に恵まれ、台湾の経済発展の規模やエネルギーな市民の姿、歴史を物語る文化遺産の数々、そしてグルメファンには嬉しい料理と、日常を脱して新鮮な楽しい気分になることができたことに感謝したい。それでも一方で、社会基盤や都市機能は日本のほうが先を走っているとも思え、道路の渋滞も、車の排気ガスもひどいし、なにより大都会の空の色は薄茶色に霞んでいて、大気汚染はこれでいいのかなとか・・・果たして日本が環境先進国なのかは大いに疑問ではあるが、追いつくにはまだ遠いのではないかと感じた次第である。

大阪府域の先進的施設も併せて視察

第2回中国地域協議会開催

社団法人全国産業廃棄物連合会の平成21年度第2回中国地域協議会会長・事務局長会議が開催されました。

- 1、日 時 平成21年10月26日（月） 午後4時50分～午後6時30分
- 2、場 所 兵庫県神戸市北区有馬町1304-1 「有馬グランドホテル」

3、参加者

岡山県：藏本忠男会長、岡本靖磨副会長、
横田一夫副会長、安藤勤専務理事

広島県：川本義勝会長、長瀬充良副会長、
田中英雄副会長、三谷哲也副会長、
高橋俊宏専務理事、古本正則事務局長

山口県：吉本勝利会長、榎本隆博副会長、
眞鍋啓介副会長、藤田稔専務理事

島根県：欠席

鳥取県：越生昭徳会長、伊藤源蔵専務理事

全国産業廃棄物連合会：國中賢吉会長、内藤勝司理事兼事務局長



4、議 事

(1) 中央情報（全産連）

「新公益法人の移行に係るマニフェスト経理事務処理等について」

全産連の内藤理事兼事務局長から「各地域協議会のマニフェストの販売は卸売り方式で進め、手数料は1ヶ月単位で経理することとしたい。」との説明がなされた。

(2) 議 題

①全産連の各部会の議事録等の各県協会での対応状況について（山口県）

各県協会とも会員に対し必要性のあるものについては適時情報提供しているとの説明がそれぞれの県協会から行われた。

②大規模災害に対する協会の支援内容等について（鳥取県）

岡山県協会から台風9号による美作市を中心とする豪雨被害に対する協会の支援内容等について詳細な説明を行いました。

③協会員の増強対策に関する各県協会の取り組みについて（岡山県）

各県協会とも様々な手段を活用し、機会を捉えて情報発信に努める等入会要請に努力しているが、会員数は減少傾向又は横ばいの状況であるとの説明が行われました。

④協会支部の設置について（広島県）

広島県協会から、協会支部の設置及び活動状況について照会がなされ、各県協会から活動状況等について詳細な説明がなされました。

(3) 提案事項について

広島県協会から「RPF・再生砕石等に関するリサイクルネットワークを中国五県で整備し、情報交換、販路拡大を図る。廃石膏ボードについても中国五県でリサイクル技術、販路拡大等の情報交換を行う。」との提案がなされ、活発な意見交換が行われた結果、検討会を立ち上げて検討していくこととされました。

(4) 報告事項について

中国地域協議会からの収集運搬部会運営委員に山口県協会の榎本隆博副会長が選任されました。

会議の概要は以上のとおりですが、当日は当会議に先立ち、13時に参加者全員が南海線堺駅に集合し、マイクロバスで堺市臨海部（堺第7-3区）において進められている大阪府エコタウン事業の視察に向かいました。

㈱RAC関西の建設系混合廃棄物リサイクル施設、㈱関西再資源ネットワークの食品系・木質系リサイクル施設及び㈱GEのサーマルリサイクル施設を見学し、大阪府域における先進的な産業廃棄物処理・リサイクル施設の整備事業について知見を深めることができ、有意義な視察となりました。



平成21年度

優良施設視察研修会 に参加して

内田 篤志

10月5日（月）に平成21年度優良視察研修会に行ってきました。ですがその後、11月の末ごろになって、協会の事務局より「クリーン岡山」の原稿の執筆依頼がありました。

実際見に行ってから約2カ月経過後ですので、「記憶もさだかではありまへん…」な～んで、ことだってありますが、今回の視察研修は本当に驚かされることばかりでした。



その視察先は、オオノ開発株式会社東温事業所です。愛媛県の東温市にあります。私も以前より会社名ぐらいは聞いたことがありましたが、一体何が処理できるのか、またどんな会社なのか？という知識もなく、とにかく行くチャンスがあるのだから…などなど、気楽な思いで出かけていきました。

ところが着くや否やまず一番の驚きは敷地の広さです。一体どこからどこまでなの？って言うぐらい広い!! 後から聞いたらなんと、300haということだそうです。1haって坪にしたら約3000坪。甲子園球場のグラウンドの面積は、1.3haですから、その何倍になるのでしょうか？

ですが、ただ広いという訳ではなく、そこ



の施設がまたまたすごい!!

- ・がれきの破碎施設60t／日→200t／日を新設建設中。（高度経済成長時に建設された建物の建て替えで、今後建設系廃棄物増と考えているのか…？）
 - ・再生改良土の販売(汚泥+セメント+石灰) 汚泥の発生量の減少により、処理方式を乾式にし、ばいじんの受け入れを可能にする→12月稼働予定（ばいじんのリサイクル可となる。）
 - ・焼却炉4基、事業系一般廃棄物も受入中。現在建設中の新設炉2基120t／日（汚染土壌の焼成無害化を目的としている。）と木質炭化炉2基20t／日
 - ・現在の最終処分場とは別に、新安定型処分場・100万㎡、新管理型処分場・118万㎡がありました。→底面：ベントナイト+二層遮水シート、側面：モルタル+二層ウレタン。（現地案内の開発部部長さんも自信満々の新設管理型処分場でした。）
- 年商50億、関連を含むと80億とのこと。これ以上いったい何が考えられるのか？というほど次の世代、時代に向けた取り組みが着実に実行されている企業でした。さすがですね。



会場の熱気に産廃への関心の高さを!!

—第8回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して—

平成21年11月6日（金）に内海産業(株)の松本さんと私、山陽興産(株)大本が「第8回産業廃棄物と環境を考える全国大会」に行ってきました。会場は徳島県徳島市の駅前ホテル「ホテルクレメント徳島」4階で行われました。開会時間は13時30分でしたが、当日、午前7時11分発のJR快



速マリンライナー7号に乗り、途中高松駅でJR特急うずしおに乗り換えて午前9時34分に徳島駅につきました。時間にして約2時間半の移動でした。

早くつきすぎたため開会時間まで徳島の街を二人で探索しました。街はあまり高い建物がなく平坦な街という印象でした。ただし街が阿波踊り会場のためか道路はかなり広くとられていました。さだまさしの映画で有名な「眉山」の麓に「阿波踊り会館」があり、眉山に上がるロープウェイの発着駅になっております。また「阿波踊り会館」は阿波踊りの歴史館になっており阿波踊りの体験コーナーも設置され是非徳島に行かれる方は行ってみる価値があると思います。私達は時間があまりなかったので会館のおみやげコーナーをうろろするばかりでした。そうこうするうちにお昼時間になったので徳島名物の「徳島ラーメン」を食べに行きました。店はホテルに置いたあったラーメンマップと地元の人情報をもとに駅前にある「麺王本店」に行きました。この店は岡山にも5月1日から神田町にオープンしており徳島ラーメンに興味のある方は是非行ってみたいはいかか

ようか。

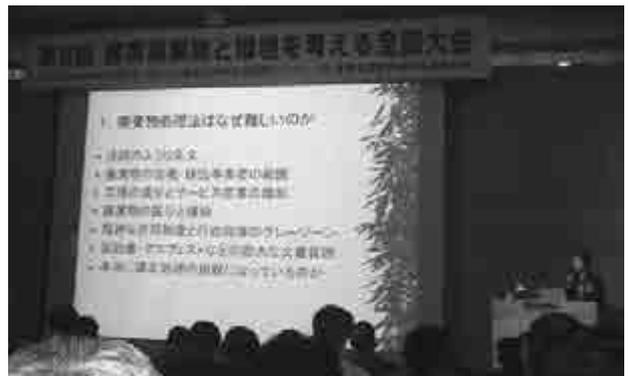
徳島ラーメンは岡山ラーメンに近い味で茶色の豚骨醤油スープに中細麺、トッピングには豚バラ肉・ネギ・



もやし・生卵が選べるようになっていました。スープはすこし甘味があり、インターネットの情報通、麺の量（写真参照）が通常のラーメンに比べて少なめでした。開会時間が来たので会場に足を運ぶと会場にはいりきれないほどの人がいて、産業廃棄物に対する関心の高さに驚かされました。特に興味を持って聴かせていただいたのは佐藤泉弁護士による基調講演の「廃棄物処理法の見直し」でした。現在検討されている法改正は、排出事業者責任の強化、建設廃棄物の排出事業者元請責任強化、処理業の許可制度の合理化、経理的基礎の判断基準明確化、欠格要件の緩和、都道府県単位の収集運搬の許可の簡素化、行政処分公開、安定型処分場対策の強化などでした。

また政権が変わりどのように廃棄法が変わっていくのか、具体的にお話を聴かせていただき非常に有意義な講演会でした。

帰りは乗り換えなしの岡山直通のJR特急うずしおに乗ることができ、行きと違い約2時間で岡山に無事帰ることができました。非常に有意義な全国大会でした。



秘境ラオス 最深部へ

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

一瞬何が起きたのか、分からなかった。

我々6名を詰め込んだオンボロ4駆自動車は、デコボコの山道を喘ぎながら登っていた。ドーンと穴に落ち込んだかのような鈍い衝撃があり、バウンドして傾きながら崖の方向に突っ込んで行った。

出発前、東南アジアでの事故の恐怖をいやというほど聞かされていた。同行の西山が主宰するTSUISO誌には、数々の事故の恐怖・顛末・教訓が寄せられている。未開の地では、未だ原始の本能が眠っていて、普段は大人しい民も、何か事が起こると、俄然その本能が目覚めてしまうという。TSUISO誌797号に紹介されたパプアニューギニアでの人身事故、“戦慄の街”（森中定治）の記事がその時脳裏をよぎった。

＜運転手は一度もブレーキを踏まず、逆にスピードを上げた。石が次々投げつけられる。人頭大の石がボンネットにガーンと当たる。車は狂ったようにスピードを上げ道路を突っ走った。2-30キロも突っ走って、待機していた武装警察の装甲車へ飛び込んだ。日本でなら凶悪なひき逃げであるが、何せパプアニューギニア（※法治国家ではある）での事故である。もし、現場で車が止まったり、動かせなくなったりしたら、たちどころに乗員全員の手足、首はばらばらにされてしまう。たとえ、行く手を阻む原住民を撥ね飛ばしてでも、一刻もその現場を抜け出さなくてはならない。そこは、ペイバック（員数あわせ）の風習が残っていて、部族の1人が殺されると、相手部族の命を

アルファックの山の中をランクルで走り回り、あちこちの村を訪ねてまわったあと、マノクワリの町はずれまで来た所でこちらの走行車線にバイクが飛び出してきて、急ブレーキに急ハンドル、あまりの急ハンドルに車は道脇に突進して、あちこちの本にぶつかり、車は一回転半したらしい。車の下で恐ろしく見えるのはチョータロー（生きているかどうかはわからない）。ガイドのジョンがようやくはいってきた所、後続の車の連中が助けに来ないのはいぶかると、なんと村人が集ってきてランクルの運ちゃんをひきずりだし、ボコボコにぶんなぐるリンチ状態。後続の運ちゃんも一緒にぶんなぐられていて、危なくて降りられない。運ちゃんも気の毒に重傷で入院。メンバーのうち、この車に乗っていたのは波橋、田中、長谷川、西山に西山娘のフミちゃん。ガイドのジョン、奇跡的に大ケガしなかったものの、あちこちひどく打った。交通事故は危ない。



車中の真中はチョータロー。果たして生きておるか？

TSUISO.1207号記事 アルファックの悲劇

1人奪うまで、その争いは清算されない。街はたちまちのうちに蛮刀を振りかざす者、拳を振り上げ罵声をあげる者で満ち溢れ、完全に原始に戻っていた。……>今回のメンバーの一人、西山（チョウタロー）も、前年に同じような事故の現場に居合わせていて、死の恐怖を感じた経験を持っている（写真・記事参照）。ラオスでは、それほど濃い原始の本能が残っているわけではなさそうだけれど、最深部秘境・未開の地であるから、何が起こっても不思議ではない状況だった。

早朝（4時30分）、運転手は今日の悪路を予想してか、駆動切り替え作業を自力で行っていて、我々の称賛を浴びた。しかし、途中には、想像以上のひどいヌカミがあった。そこを何とか全力で脱出し、ホットした直後の出来事だった。行く手は急傾斜、曲がりくねった悪路の連続。一抹の不安がよぎってはいた。しかし、運転手は慣れたハンドルさばきである。我々は窮屈な姿勢での乗車に耐え、今日の獲物:オウゴンテングアゲハの舞う情景を想い、期待に胸を膨らませていた。



脱輪回復不能

喘ぎながらの緩やかな走行であったこと、故障が谷底側ではなく、崖壁側のタイヤのトラブルであったこと、運転手の技量などが我々に幸いした。車は、右前輪のタイヤを

文字どおり脱輪した（ふっ飛ばした）まま、崖壁の手前でかろうじて止まった。我々は怪我もなく、全員無事に傾いた車から脱出できたが、もはや車は修理不能。町の修理専門家がやって来るまで何日間か待機しなくてはならなくなった運転手（放置すると、たちまち解体されてしまう）を残して、我々はこのからは徒歩で目的地へ向かう羽目となった。長距離の山登りは長老には酷。荷物運びも兼ねて、急遽近隣の村からトラクターを調達し、つらい山歩きとなった。しかし、途中の原生林には、蘭の花々が咲き競い、珍しい昆虫、蛇、サソリなどが次々と現れて、我々を夢中にさせた。



長老用 登山車調達

やっとたどり着いたパン山（2070m）頂上付近は、未だ朝靄に覆われていた。そこは巨木が林立し、テングアゲハの好む食樹として知られるオガタマヤモクレン系の木々もあった。その樹林の間に、谷底から今にもオウゴンテングが舞い上がってきそうな気配が漂っていた。待望の朝日が差し始めてきて、我々は急いでそれぞれの好位置を確保し（前号写真参照:高いところが得意な私の持ち場）、谷底から舞い上がってくるオウゴンテングアゲハを、今や遅しと期待の待機となった。

何故か、オウゴンテングアゲハは早朝の薄闇の



樹上で競い咲く原生菊



ラオス奥地～ベトナム山中で密かに咲く



ジャングルの住人
巨大ホタルの幼虫、糞コロガシ、巨大サソリ、コブラ?

中を頂上めがけて舞い上がってくるという。そこで相手を見つけ、交尾・産卵する。オウゴンテングアゲハは、五十嵐が20数年もかけてインドダージリンで観察解明したテングアゲハとその生態が似ていると考えられていたが、これまでだれもその全貌を解明したものはいなかった。我々は、手探りながらも、現地在の若原の情報を頼りに、ここにやってきている。期待と一抹の不安を抱えながらも、じっと我慢の蝶待となった。時間が経ち、明るくなるにつれ、それまでの霧が小雨になり我々の期待は望み薄となっていた。その後もチャレンジしたけれど、我々は天候に恵まれず、ついにオウゴンテングアゲハの姿を望むことは出来なかった。(同行の渡辺夫妻は巨樹の上に舞う個体を目撃したと言うが・・・)。

その後、同じ道をトラクターで引き返す同行者と別れ、健脚の若原と二人、尾根沿いにさらにジャングル深く分け入って、周辺の高山一帯の調査・

搜索をおこなった。そこはラオス北東部の再奥の地である。ベトナムに接する未開の地だけあって、未知の昆虫、植物は言うに及ばず、トラや毒蛇、さらには近年発見された新種のリヌヤ、大型哺乳動物:馬と鹿を併せた形態を持つ珍獣サオリののような動物さえ生息しているという。危険な獣や蛇なども多いというが、そこにはオウゴンテングの食草と思われるモクレン系の巨木の森があり、珍らし蘭の原種、バツタ、ホタル、カタツムリなども次々と見つかって、我々をさらに興奮させるに十分な自然があった。

近年、隣国中国の目覚ましい発展に伴い、ラオスでも様々な開発が始まっていて、少数民族にとっては、激動の時代に入りつつあるようだった。ここサムヌアの地でも、中国からの交易道路が伸び始めていて、その周辺に集落が建ち並び始めていたが、奥地にはまだまだ豊かな自然、伝統的な焼畑、見事な協同耕作地が広がっている。ちょうど

村は、今年何度目かの田植えの時期を迎えていて、豊年祈願のための珍しいお祭りの準備が行われていた。庶民の市場は、相変わらず豊かな農産物や雑貨であふれていて、大いに興味、好奇心を掻き立てられた。今、隣接の国々（タイ、ベトナム、カンボジア、中国）から商品経済の波が押し寄せていて、静かで穏やかな国:ラオスの地も無関係ではいらなくなっている。いつまでも心豊か・自然豊かな国であって欲しいものと願いつつ・・・。



動くものは蛋白質、タガメ、ハチノコ、ココロギ、カエル：



村民総出による田植と田植祭用の粳米酒といけにえ用牛

芸術的、市場の陳列棚



西山XAMNEUA秘境探険隊無事生還

「青年部10年のあゆみ」で認識を共に —青年部設立10周年記念式典—

去る平成21年9月4日（金）メルパルク岡山にて、岡山県産業廃棄物協会青年部会の10周年記念式典が行われました。

中国ブロックの青年部会にも案内を出させていただいたこともあり、総勢65名の出席をいただき、盛大な式典となりました。

岡山県生活環境部循環型社会推進課の寺元課長、全国産業廃棄物連合会中国地域協議会の川本会長他多数の来賓の方に祝辞をいただき、記念講演では、テレビ等にも良く出演されている中部大学武田邦彦教授を迎え、我々の業界とは違った視点での環境問題をテーマにお話をいただきました。

式典では、歴代の部会長に対し敬意を表して感謝状と記念品を送り、プロジェクターを用いての



「青年部会10年のあゆみ」と題した手作りプレゼンテーションを行い、今までの活動をひも解き、改めて青年部会の歴史をみんなで認識し直しました。

また青年部会では、親子エコツアーや小学校への環境学習といった社会貢献活動と共に岡山県産業廃棄物協会の啓蒙活動を行う等、充実した運営が原動力となっていることもあり、不況の時代

ではありますが発足当初からほとんど会員数が減少することなく今日まで来ております。まだまだ可能性を秘めた青年部会による青年部会のための青年部会らしい式典ができたのではないかと思います。

今回10周年記念式典を行うにあたり、今まで運営をしてこられた先輩方が10年後を見据えてこの日のために事業費を捻出してきたおかげでこのような素晴らしい会を催すことができたという感謝の気持ちと、この先10年後、20年後も火を消すことのないよう後輩に引き継いでいく必要性も深く感じさせられました。



東備支部

ゼロ
不法投棄〇を目指して!

平成21年10月23日(金) 午前9時

赤磐市役所駐車場にて参加の点呼を行い作戦が
決行されました。赤磐市岩田大池、山陽7丁目、
馬屋、河本へそれぞれ参加者と車両等が配置され
人力及び車両による回収先を協議し、作業が開始
されました。廃棄物は雑家電や廃家電（テレビ・
洗濯機・冷蔵庫）可燃物、鉄屑、ビン類、缶類等
が次々と発見され、中には長期に渡り不法投棄さ
れていた様な傷みの酷い物もありました。（特に
廃棄物の業に携わる者として）非常に心痛む光景
でした。



中には足場も悪く重量のある廃家電もあり作業
には危険も伴います。

『**不法投棄、許さない!**』強い気持ち
で汗も拭わず黙々と作業しておられた皆様の姿
に頭が下がる思いが致しました。

- ・参加人員…23名（協会員15名、岡山県産業廃棄物協会員1名、赤磐市役所員3名、備前県民局員4名）
- ・車 両…4t ヒアブ2台、2t ユニック2台、2t 深ダンプ2台
- ・廃棄物収集量…約18立米

運搬には車両6台に及ぶ不法投棄物を回収し、最後に再発防止を呼びかける啓発用看板を設置してこの日の作戦を無事に終了する事になりました。

お忙しい中での御協力、御参加下さいました皆様、本当に有難うございました。

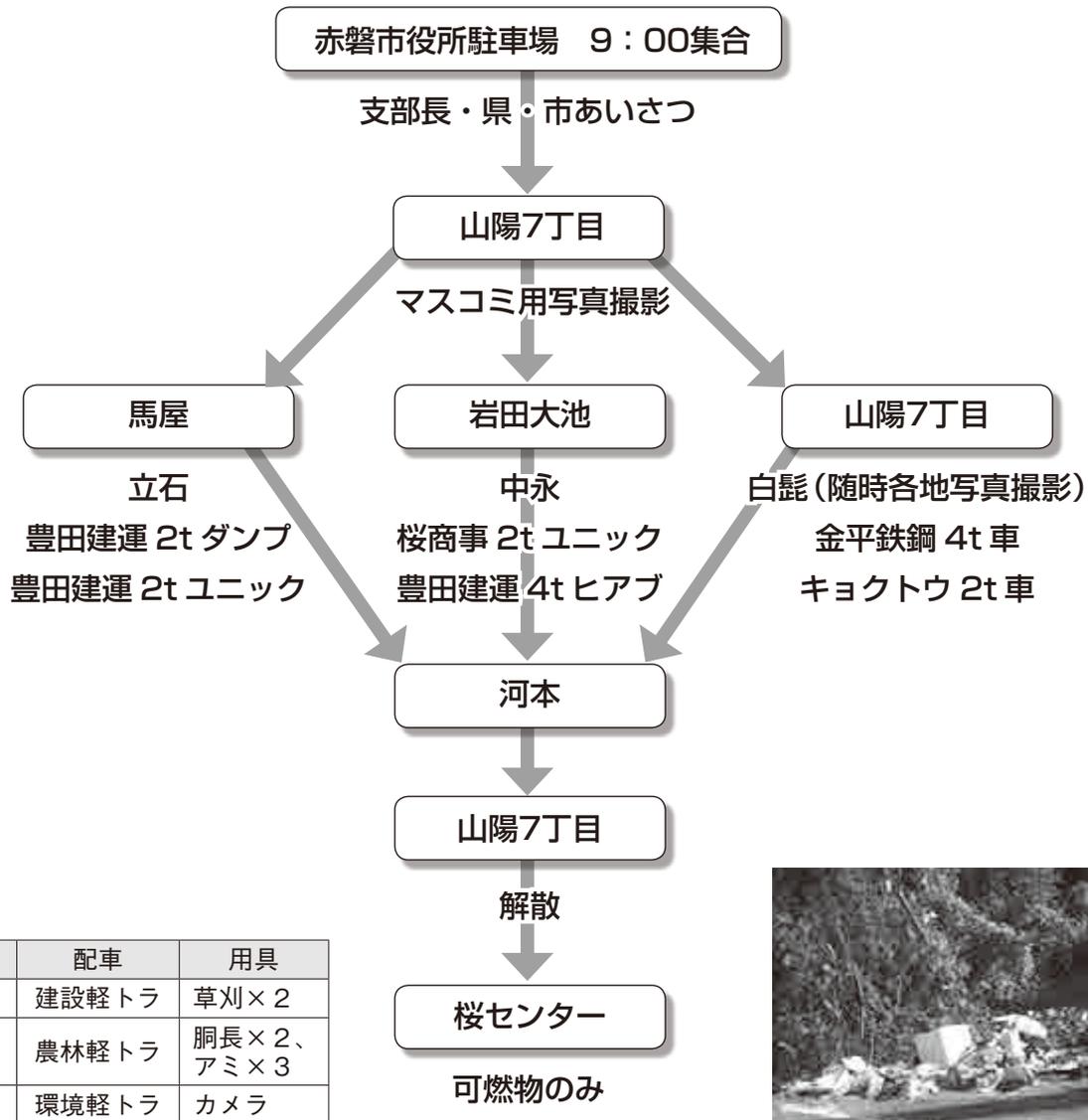
これからも不法投棄の無いより良い安全・安心・クリーンな地域社会を目指して皆様と共に頑張って参りたいと思います。

岡山県産業廃棄物協会東備支部主催 東備地域環境クリーン作戦

実施日 平成21年10月23日(金)

実施場所 岩田大池、山陽7丁目、馬屋、河本

当日の流れ



	配車	用具
立石	建設軽トラ	草刈×2
中永	農林軽トラ	胴長×2、 アミ×3
白髭	環境軽トラ	カメラ



井笠支部

活動が不要になる日まで

—第12回井笠地域環境クリーン作戦実施—

- ・日 時 平成21年10月28日（木）
- ・実施場所 浅口市鴨方町小坂西地内 2箇所
- ・参加人数 48名（協会員26業者37名 外部協力者11名）
- ・参加車両 16台（2tダンプ、4tダンプ、2tパッカー、2tフック、8tダンプ他）
- ・収集廃棄物 可燃ゴミ（粗大ゴミ込）：里庄清掃工場
不燃ごみ（粗大ゴミ込）：井笠広域資源化センター
タイヤ・家電・その他（がれき類等）：里庄清掃工場下仮置場（一時保管）
- ・立看板の設置 作業終了後、廃棄物が多かった箇所に再発防止啓発のため立看板を設置



今年も昨年同様、井笠地域環境クリーン作戦を実地しました。

地域住民や県・市職員、ネクスコ西日本さんも参加し、林道と山陽道側道沿いの2箇所で作業しました。

駐車場や山の斜面に捨てられた廃タイヤやテレビ、布団などの大きなゴミや空き瓶、ペットボトルなどを回収し、分別後に収集車やトラックへ積み込みました。



この日、集められたゴミの量は約30トンでした。不法投棄がなくなり、こうした活動が、不要になる日まで、共に頑張りたいと思います。

最後に、お忙しい中ご参加くださった大勢の皆さん、ご協力ありがとうございました。

スタート前の練習が奏功

趣味の会 第18回ゴルフコンペ開催

小野建設(株) 小野 勝己

平成21年11月1日(日)、恒例の産廃協会趣味の会ゴルフコンペが御津カントリーにおいて行なわれた。

当日は9時30分の集合時間を1時間間違えて8時15分に到着してしまい、仕方なく練習をして時間潰しをしました。曇りのち雨の天気予報が朝は青空で、天気予報がはずれたと喜んでスタートいたしましたが、午後からは冷たい雨の中のプレーとなりました。同伴競技者はよく気心の知れた森社長と以前同伴して頂いたときに見事優勝された中山様、そして今回初めての矢地様と楽しくプレーさせて頂きました。さて、肝心の私のゴルフの内容ですが、トリプルあり、ダボ(複数)あり、そしてバーディー(3箇所)ありの起伏の激しいゴルフでした。結果を振り返れば、スタート

前の練習熱心さ(?)とダブルペリアの隠しホールのお蔭ではないかと思えます。何はともあれ優勝賞品のお肉をおいしく頂きました。また、いつも幹事をしてくださる遠部様、ありがとうございました。これからも楽しいコンペをよろしくお願い致します。



3回の溝掃除に奮起

趣味の会 第9回ボウリング大会開催

タマタイ産業(株) 石川 智 幸



11月20日(金)、ジョイポリスのサンフラワーボウルを会場に第9回ボウリング大会が開催されました。

今回2度目の参加で、初優勝のトロフィーを手にする事が出来て光栄に思っております。

早速、当社の自分のデスクに誇らしく飾らせて頂いています。

実は、昨年チャンピオン泉建設(株)の北西さんの7連続ストライクが脳裏を離れず、迷わず秘密兵器のマイボール、マイシューズで参戦を決めました。もちろん優勝も!ところが、プラスチックレーンが初めてで、自信を持って曲がるボールを投げたはずが、なんと溝掃除!その後も産廃処理業者らしく3回も溝掃除をしてしまい、心なし綺麗になっていた様です?

1ゲームを終え、優勝の2文字を忘れかけていた時、隣のボックスでターキー、ダブルとノーミスで好投する産業廃棄物協会の泉理事の姿を拝見し、いつの間にか私のやる気のスイッチが入って



ました。この優勝は泉理事のお陰と言っても過言ではありません。

懇親会では、優勝の甲斐あり、お世話になっている方々にお声を掛けて頂けるなど、幸せな1日でした。

また、毎年趣味の会の開催をお世話くださっている皆様に感謝申し上げます。

紹介
新規入会正会員

はや さか けん せつ
早 坂 建 設 (有)

代表取締役 みず た こう じ
水 田 浩 二

<収集運搬>

〒709-0632 岡山市東区南古都134番地33
TEL. 086-297-2116 FAX. 0869-26-6041

[所属支部：岡山東]

(株) ゆめフク・ホーム

代表取締役 ふく もと こう じ
福 本 浩 治

<収集運搬>

〒716-0007 高梁市奥万田町3715番地
TEL. 0866-22-4311 FAX. 0866-22-4388

[所属支部：備北]

(株) 佐 藤 砕 石

代表取締役 さ とう のぶ よし
佐 藤 宣 義

<収集運搬・中間処理>

〒709-4316 勝田郡勝央町勝間田225番地の5
TEL. 0868-38-4168 FAX. 0868-38-4169

[所属支部：津山]

(有) アクティヴ・コンプリート

代表取締役 う じ ごう ひろゆき
宇 治 郷 宏 行

<収集運搬>

〒703-8258 岡山市中区西川原86番1号
TEL. 086-273-3330 FAX. 086-273-3040

[所属支部：岡山東]

(株) エリア・クリエイション

代表取締役 さ とう てる み
佐 藤 照 美

<収集運搬>

〒703-8258 岡山市中区平井6丁目3番8号
TEL. 086-270-0303 FAX. 086-271-1133

[所属支部：岡山東]

き び かい はつ こう じ
吉 備 開 発 工 事 (株)

代表取締役 つばい のりこ
坪 井 の り 子

<収集運搬>

〒719-1133 総社市中原845-1
TEL. 0866-92-0400 FAX. 0866-92-0404

[所属支部：倉敷]

こう せい かい はつ
興 成 開 発 (株)

代表取締役 たに もと とし お
谷 本 利 男

<収集運搬>

〒716-0321 高梁市備中町東油野1225
TEL. 0866-45-2255 FAX. 0866-45-2256

[所属支部：備北]

(有) おう なか こう ぎょう
大 中 工 業

代表取締役 おお なか あき お
大 中 昭 夫

<収集運搬>

〒709-0855 岡山市東区瀬戸町沖372-4
TEL. 086-952-9010 FAX. 086-952-9030

[所属支部：東備]

(株) なが はま ど ぼく
長 浜 土 木

代表取締役 きた うら けん
北 浦 謙

<収集運搬>

〒701-4301 瀬戸内市牛窓町長浜996
TEL. 0869-34-4971 FAX. 0869-34-4441

[所属支部：岡山東]

しん おか やま かい はつ
新 岡 山 開 発 (株)

代表取締役 きのした まゆみ
木 下 真 由 美

<収集運搬>

〒703-8271 岡山市中区円山150番地
TEL. 086-277-5577 FAX. 086-276-2266

[所属支部：岡山東]

サ ン ビ ル ド (株)

代表取締役 つか はら てつ や
塚 原 鉄 也

<中間処理>

〒160-0005 東京都新宿区愛住11-1グラン四谷202
TEL. 03-3356-8722 FAX. 03-3226-4597

【事務連絡先】

〒701-1601 岡山市北区掛畑1596-1
TEL. 086-299-0860 FAX. 086-299-0870

[所属支部：岡山中央]

真庭市勝山町「のれんのある風景」



県下で初めて「町並み保存地区」に指定された旧勝山町。出雲街道沿いに位置し、連子格子に白壁の商家が立ち並ぶ。遊歩百選にも選ばれている。商店、工房を問わず一般の民家を含む百軒もの軒先をかざる「のれんのある風景」がこの町の一体感、人の温もりを表現している。

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年は十二支の三番目、「寅」年です。「寅(とら)」という字の本来の意味は、「身を慎む」ということだそうです。小生も今年も、身を慎み、油断せず、過ごしたいと考えております。野球のトラにも頑張ってもらいたいですね。

皆様にとってこの寅年が素晴らしい年になりますように、お祈り申し上げます。

T. M

会報・くりん岡山 第41号

平成22年1月31日 発行

発行 社団法人 岡山県産業廃棄物協会
〒701-1152 岡山市北区津高628-6
TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

**日本エクスラン工業
株式会社西大寺工場**

取締役工場長 塩田博孝

〒七〇四一八五一〇

岡山市東区金岡東町三―三―一

電話 (〇八六) 九四二―九八四〇

株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎文夫

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二―一四―三三

電話 (〇八六) 九四二―三三八一

株式会社石原工務店

代表取締役 石原義明

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町八〇―一―一

電話 (〇八六) 九四二―五一一

内海産業株式会社

代表取締役 中山康夫

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二―一九―二七

電話 (〇八六) 九四八―二二三七

**あけまして
おめでと
うございます。**



株式会社日本資源開発社

代表取締役 林茂樹

〒七〇九一〇六〇七

岡山市東区浦間一―〇―二

電話 (〇八六) 二九七―三三二八

牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中三春

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二

電話 (〇八六九) 三四―四九七八

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二一八〇〇五

岡山市中区江崎七四六―三

電話 (〇八六) 二七六―一一一一

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 寺山満春

〒六五八一〇〇二四

神戸市中央区加納町四―四―一七

ニッセイ三宮ビル
電話 (〇七八) 三三三―五六〇〇

株式会社蓬萊組

代表取締役 蓬萊 富孝

〒七〇〇一〇九四四

岡山市南区泉田五五一〇

電話 (〇八六) 二六五一五六七一

栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英輔

〒七〇〇一〇九四三

岡山市南区新福二一七一二〇

電話 (〇八六) 二六五一二二三四

有限会社岡南美研

代表取締役 大北 智子

〒七〇二一八〇五五

岡山市南区築港緑町三一三一二二

電話 (〇八六) 二六四一九六二

大三運輸株式会社

代表取締役 中山 和

〒七〇六一〇〇〇一

玉野市田井三一三一

電話 (〇八六三) 三一三一三二二

あけまして
おめでとう
ございます。



有限会社片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二一八〇三三

岡山市南区福富東二一七一一三

電話 (〇八六) 二六三一二〇一〇

有限会社井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二一八〇二四

岡山市南区浦安南町五八四一三

電話 (〇八六) 二六三一八七四五

泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

〒七〇二一八〇一三

岡山市南区飽浦一二六

電話 (〇八六) 二三三二一六二〇五

安田産業株式会社

代表取締役会長 安田 猛男

〒七〇二一八〇三六

岡山市南区三浜町一一一一八

電話 (〇八六) 二六三二三〇六一

株式会社デベロップ岡山

代表取締役 田口睦青

〒七〇一〇二二三

岡山市南区中畦一八一三

電話 (〇八六) 二九八一三二二五

山陽美業株式会社

代表取締役 室山好忠

〒七一〇一〇八二六

倉敷市老松町二一三三〇

電話 (〇八六) 四三四一三五〇〇

協同組合倉敷市環境保全協会

代表理事 西本哲夫

〒七一〇一〇〇三八

倉敷市新田二三三二一八

電話 (〇八六) 四二二一七三七一

田村碎石工業株式会社

代表取締役 田村恵司

〒七〇九一二一〇七

岡山市北区御津矢原二八五一二

電話 (〇八六七) 二四一〇七一五

あけまして
おめでとう
ございます。



株式会社クラカン

代表取締役 永田満

〒七一〇一〇〇四二

倉敷市二日市三三二一三

電話 (〇八六) 四二二一〇〇〇

三和興産株式会社

代表取締役 重本郁代

〒七〇一〇一三三四

岡山市北区三和一五五三

電話 (〇八六) 二九四一三二〇一

中野開発株式会社

代表取締役 中野治

〒七〇一〇二二四二

岡山市北区玉柏七五

電話 (〇八六) 二二九一三三一六

水島エコワークス株式会社

代表取締役 岸田修一

〒七二二一八〇七四

倉敷市川崎通一四一五

電話 (〇八六) 四四七一三二五五

内田工業株式会社

代表取締役 内田 君枝

〒七二一八〇五二

倉敷市松江三二一四六

電話 (〇八六) 四五六一五八八八

福栄産業株式会社

代表取締役 田中 博文

〒七二一八〇五五

倉敷市南畝六一八一四一

電話 (〇八六) 四五五一六二四七

株式会社三美産業

代表取締役 妹尾 志津子

〒七二六一〇二〇三

高梁市川上町三沢四三四二一二

電話 (〇八六六) 四八一二八七八

株式会社カンガイ

代表取締役 甲谷 富造

〒七二一八一二三

倉敷市玉島柏島七六九一一

電話 (〇八六) 五二六一一七一一七

あけまして
おめでとう
ございます。



井原碎石株式会社

代表取締役 志多木 勝俊

〒七二五一〇〇〇六

井原市西江原町一九三一七

電話 (〇八六六) 七二一〇二六〇

JFE環境株式会社

代表取締役 福武 諄

〒二三一〇〇四四

横浜市鶴見区弁天町三一

電話 (〇四五) 五〇五一七九四九

株式会社高谷建設

代表取締役 高谷 耕治

〒七二一一〇九三六

倉敷市児島柳田町二三二六一四

電話 (〇八六) 四七三一一三六二四

株式会社井原環境保全

代表取締役 田邊 拓人

〒七二五一〇〇二三

井原市大江町一三三三一

電話 (〇八六六) 六七一二三三三二

エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 佐伯裕治

〒一〇一〇〇二一

東京都千代田区神田四一―四一―一
秋葉原UDXビル22F
電話(〇三三) 六八四七一―一〇〇

山陽興産株式会社

代表取締役 大本修身

〒七二六一〇〇四五

高梁市中原町一五四二―一六
電話(〇八六六) 二二一―一〇三五

野田商事運輸株式会社

代表取締役 野田尚子

〒七二六一〇〇六二

高梁市落合町近似三〇―一
電話(〇八六六) 二二―四六一五

坂田砕石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九一三六三二

久米郡久米南町山手六四五
電話(〇八六七) 二八一―二八一

あけまして
おめでと
う
ございます。



株式会社新岡山工業

代表取締役 田口芳美

〒七〇八一―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原火の谷一〇八〇
電話(〇八六八) 六二―二七七五

社団法人岡山県産業廃棄物協会

専務理事 安藤勤

〒七〇一―一五二

岡山市北区津高六二八―一六
電話(〇八六) 二五四―九三三

杉山砕石工業株式会社

代表取締役 岡田隆二

〒七〇九一三六二六

久米郡久米南町上神目九二九
電話(〇八六七) 二二一―二〇二

株式会社オガワエコノス

代表取締役 小川勲

〒七二六一〇〇一三

府中市高木町五〇二―一〇
電話(〇八四七) 四五―二九九八



タマタイ産業株式会社

産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業（木くず、繊維くず、紙くず、廃プラスチック類）

お任せ下さい！
〈木くず〉のことなら！！



産業廃棄物から一般廃棄物まですべて処理いたします。

本 社 〒700-0935 岡山市北区神田町2丁目1-25 TEL.086-224-3291 FAX.086-224-3310
金川工場 〒709-2134 岡山市北区御津下田450 TEL.0867-24-0115 FAX.0867-24-2694
建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田1425 TEL.0867-22-3865 FAX.0867-22-3459

私たち中央建設は、暮らしやすい街を創り続けしていくために、
「造る」、「壊す」、「再生」、「再利用」を追求し続けます。

確かな技術と万全のシステムで、地域社会に貢献します。

未来に翔く



総合建設業 / 建物解体工事業

中央建設(株)

本 社 倉敷市中央1丁目6-24 (086)424-6429
総合工事事務所 倉敷市西中新田509-1 (086)427-4408

地球資源を大切に—フジミツからの提案

リサイクルプラント

緑と環境を大切にするフジミツの

産廃処理システム

一般土木／井原市上下水道指定工事店
家屋解体工事／岡山県エコ製品認定店
産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理業

有限 藤 充 建設 工業
会社

本 社:井原市井原町 3557-29 TEL(0866)62-0712 FAX62-0302
処分場:井原市芳井町宇戸川 2030 TEL(0866)72-1530 FAX62-5545
リサイクル製品ストック販売場:高梁市成羽町佐々木



生き生き暮らせる
環境と人を守りたい

山陽環境開発株式会社

一般廃棄物処理業（収集運搬）
産業廃棄物処理業（収集運搬・中間処理[破碎・圧縮・焼却・濃縮・乾燥]）

〒718-0003 新見市高尾 2304-1

tel.0867-72-5415 fax.0867-72-1780

e-mail. niimi@mx9.tiki.ne.jp



エコアクション21
認証・登録番号 0002359



混ぜればゴミ・分ければ資源 株式会社 ジェイピー有価物回収

産業廃棄物中間処理(破碎)施設 岡山県知事許可番号第3328102733号

代表取締役 池田輝文

〒708-0013 岡山県津山市二宮1511 TEL:(0868) 28-9366 FAX:(0868) 28-9369 E-mail jpaa-do.ne.jp

廃棄物の環境リスクから御社のブランドを守ります。

DOWA



エコシステム山陽は、西日本有数の焼却設備を有し、さまざまな産業廃棄物の安全・適正な処理によりお客様に安心をお約束します。

■廃棄物についてのお問い合わせは
エコシステムジャパンまで
ご用命下さい。

●処理営業品目●

【産業廃棄物】

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、燃えかから、ばいじん、動植物性残渣

【特別管理産業廃棄物】

廃油、廃酸、廃アルカリ、特定有害産業廃棄物(セレン、PCB、廃石棉等除く全て)、感染性廃棄物

2009年6月 水銀廃棄物許可取得しました。

【フロン類】

CFC、HCFC、HFC

[中間処理]

エコシステム山陽株式会社

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1125
TEL.0868-62-1346 FAX.0868-62-1345

[収集・運搬・営業]

エコシステムジャパン株式会社 岡山営業所

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1048-2
TEL.0868-62-1341 FAX.0868-62-1330

新しい未来へ向けて、 西日本アチューマツトクリーンは 動き出しています。

エネルギーの有効活用と CO₂の削減を 目指して

固形燃料
(RPF)
のできるまで
～製造の流れ～

木くず
紙くず
繊維くず
廃プラスチック類

受入貯留ヤード

破碎機

磁選機

風力選別機

比重差選別機

バグフィルター

サイクロン

定量供給機

押出成形機

RPF
(製品)

RPF 搬出



固形燃料 (RPF)

清浄な空気を大気へ排出します○○○○○



Clean & Recycle

私たちは地球の未来に真剣です。

西日本アチューマツトクリーン

ISO 14001
認証取得



JICA-EM2324

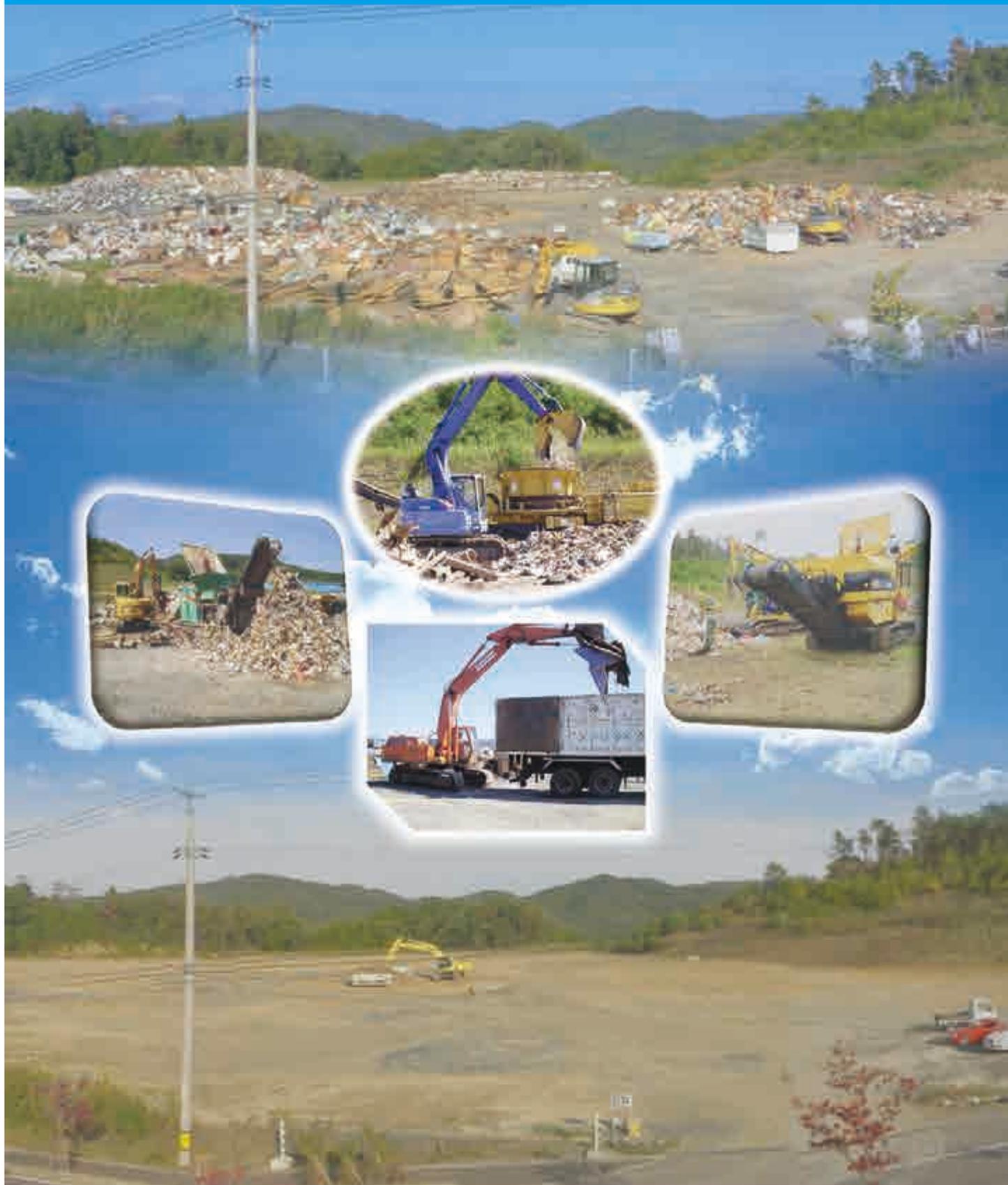
本 社 〒703-8245 岡山市中区藤原50-1
TEL.(086)272-8042 FAX.(086)271-1050

倉敷営業所 〒712-8044 倉敷市東塚5-17-58
TEL & FAX.(086)456-4433

RPF工場 〒701-2225 赤磐市山口2131-4
TEL.(086)957-4919 FAX.(086)957-4922



美作市災害廃棄物処理状況



岡山県産業廃棄物処理業協同組合

〒701-1152

岡山市北区津高628-6 (社)岡山県産業廃棄物協会内

TEL (086) 254-9383 FAX (086) 254-8766